



境港地域は島根半島東部と中海・弓ヶ浜の一部を含み 半島北側の日本海に面する沈水海岸や日本でも有数の砂州である弓ヶ浜 そして中海に浮かぶ大根島と見事な景観が連なる地域である。

島根半島は日本海に突き出ていることから 周辺海域の地質と陸上の地質を比較検討する際に陸上の重要な模式地域の一つとして選ばれてきた。中でも境港地域には島根半島に分布する新第三系各層がすべて揃っており この新第三系の調査資料は島根半島や周辺海域の地質を理解する上で不可欠である。その点を考慮し この図幅では新第三系に力点が置かれ 第四系については分布が中海周辺や弓ヶ浜など狭い範囲に限られることもあってさらりとした記述になっている。

新第三系は下位から古浦層・成相寺層・牛切層・古江層・松江層・和久羅山山岩に区分されているが 松江層にほぼ対比される火山岩層として新たに高浜山層が設定された。これら各層の時代を明らかにするために 新たに行われた測年資料・有孔虫及び植物化石資料が盛られているほか 各層の岩相や火山岩・火砕岩の産状・化学組成などが手際よくまとめられており 貴重な地質学的基礎資料を提供している。

理解を助けるために添えられている火山岩・火砕岩の図版写真は見ても楽しい。

古浦層は非海成層で成相寺層—松江層は海成層 松江層は非海成の部分も含む。これらの地層はほぼ東西に延びた複背斜をなし かつそれとやや斜交する宍道断層やその派生断層によって切られており その様子は地質図に見事に描かれている。それらの構造は和久羅山山岩噴出前に形成されたもので 中新世後期だという。

和久羅山山岩のなす和久羅山・嵩山は松江市民のハイキング・コースであり そこからは中海に浮かぶ大根島や弓ヶ浜を望むことができる。案外知られていないことであるが大根島はアルカリ玄武岩を噴出した第四紀の火山である。和久羅山



5万分の1地質図幅の新刊

境 港
SAKAIMINATO

5万分の1地質図幅 地域地質研究報告



著 者 鹿野和彦・吉田史郎
 発 行 工業技術院 地質調査所
 取 扱 先 東京地学協会 (03)261-0809 262-1401
 そのほか全国主要書店
 販売価格 2,390円

から大根島 弓ヶ浜 そして島根半島と周回するコースは一見に値する観光コースであるとともに 島根半島北側の沈水海岸では様々な火山岩・火砕岩の産状を見ることができ 図幅を片手に回ればまた一層楽しめるコースでもあるらしい。

地 質 ニ ュ ー ス	第368号	4月号
	定価 ¥ 600	千実費
昭和60年4月1日	発行	
編 集	工業技術院地質調査所	
発行人	林 久 雄	
発行所	株式会社 実業公報社	
	東京都千代田区九段南4の2の12	
	〒 102	
	Tel. (03)265-0951(代表)	
	振替口座 東京1-32466	
総発売元	株式会社 実業公報社	
	出版事業部	